

坂出製油所

所在地:香川県坂出市番の州緑町1-1

操業開始年月:1972年10月

面積:847,943m²

従業員数:234名

原油処理能力:120,000バレル/日 (2002年3月末)



法規制物質

物質	規制法令	規制内容	規制値	実績	
				最大	平均
NOx(m ³ /時)	公害防止覚書	総量規制	190	52	33
SOx(m ³ /時)	公害防止覚書	総量規制	164	107.9	45.1
ばいじん(煙突)(g/m ³)	公害防止覚書	濃度規制	0.05	0.007	0.006

物質	規制法令	規制内容	規制値	実績	
				最大	平均
COD(kg/日)	県条例	総量規制	120	49.1	29.2
COD(mg/L)	県条例	濃度規制	15(10)	5.0	3.4
SS(mg/L)	県条例	濃度規制	15(10)	10.0	4.5
油分(mg/L)	県条例	濃度規制	2	定量下限未滿	
窒素(mg/L)	水質汚濁防止法	濃度規制	12(60)	2.1	1.3
リン(mg/L)	水質汚濁防止法	濃度規制	1(8)	0.05	0.03
フェノール(mg/L)	県条例	濃度規制	1	定量下限未滿	

()内は日間平均値

環境パフォーマンス

	使用量・排出量	原単位
エネルギー	330,012 (kL-原油/年)	9.52(kL-原油/千kL)
CO ₂	959,376 (t-CO ₂ /年)	27.67(kg-CO ₂ /kL)
SOx	1,128 (t/年)	32.5 (g/kL)
NOx	594 (t/年)	17.1 (g/kL)
COD	10.7(t/年)	0.31(g/kL)
産業廃棄物発生量	15,021 (t/年)	
産業廃棄物再資源化量	2,352 (t/年)	
産業廃棄物最終処分量	334 (t/年)	

PRTR対象物質	排出量・移動量
エチルベンゼン(大気排出)	0.5 (t/年)
キシレン(大気排出)	2.1 (t/年)
1,3,5トリメチルベンゼン(大気排出)	42 (kg/年)
トルエン(大気排出)	8.1 (t/年)
ベンゼン(大気排出)	2.2 (t/年)
コバルト及びその化合物(移動量)	7.4 (t/年)
ニッケル化合物(移動量)	37.0 (t/年)
モリブデン及びその化合物(移動量)	60.0 (t/年)

環境会計

項目	環境保全コスト(単位:百万円)	
	投資額	費用額
1 事業エリア内コスト	47	909
公害防止コスト	47	820
地球環境保全コスト	0	0
資源循環コスト	0	89
2 上・下流コスト	378	9,543
製品の環境負荷低減コスト	378	9,543
製品の低硫黄化コスト	166	6,711
ガソリン	51	2,071
ナフサ	6	245
ジェット燃料	5	212
灯油	32	1,290
軽油	46	1,838
A重油	18	739
C重油	1	41
LPG	7	275
ガソリンの有害物質代替コスト	212	2,832
石油化学製品の芳香族分低減コスト	0	0
グリーン購入によるコスト	0	0
3 管理活動コスト	0	49
4 研究開発コスト	0	0
5 社会活動コスト	0	153
合計	425	10,654

項目	環境保全効果	
	環境負荷削減(前年度-当年度)	
	濃度・原単位	負荷量
1 事業エリア内の効果		
事業活動に投入する資源に関する効果	(kL-原油/千kL)	(TJ)
エネルギーの投入	0.04	1,737
水の投入	(kg/kL)	(千t)
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果		
大気への排出	(kg-CO ₂ /kL)	(千t-CO ₂)
CO ₂	0.30	137
SOx	(g/kL)	(t)
NOx	5.4	358
ベンゼン	0.01	0.40
水域への排出	(g/kL)	(t)
COD	0.06	4.0
廃棄物の排出	(g/kL)	(t)
産業廃棄物発生量	47	99
産業廃棄物再資源化量	22	530
産業廃棄物最終処分量	5	144
2 上・下流の効果		
製品の環境負荷低減効果		
製品の低硫黄化	(硫黄分:質量%) (潜在SOx量:t)	
合計	0.0703	12,168
ガソリン	0.0004	10
ナフサ	0.0191	21
ジェット燃料	0.0001	3
灯油	0.0009	3
軽油	0.0014	45
A重油	0.2764	1,208
C重油	0.0524	10,926
LPG	0.0001	0
ガソリンの有害物質代替効果	(容量%) (t)	
合計	0.0896	1,255
製品使用時のCO ₂ 排出量	(t-CO ₂ /kL) (千t-CO ₂)	
合計	0.0078	1,981

経済効果(21百万円)

省エネルギーによる節約額(コージェネレーションによる節約)	0
触媒リサイクルによる節約額(廃棄物処理費削減他)	21
研究開発による効果額(ロイヤリティ収入他)	0